



ふつふつと
四つを七つと
五つを六つと
六つを五つと
七つを四つと
八つを三つと
九つを二つと
十つを一つと
十一つを無と
十二つを有と
十三つを無と
十四つを有と
十五つを無と
十六つを有と
十七つを無と
十八つを有と
十九つを無と
二十つを有と
二十一つを無と
二十二つを有と
二十三つを無と
二十四つを有と
二十五つを無と
二十六つを有と
二十七つを無と
二十八つを有と
二十九つを無と
三十つを有と
三十一つを無と
三十二つを有と
三十三つを無と
三十四つを有と
三十五つを無と
三十六つを有と
三十七つを無と
三十八つを有と
三十九つを無と
四十つを有と
四十一つを無と
四十二つを有と
四十三つを無と
四十四つを有と
四十五つを無と
四十六つを有と
四十七つを無と
四十八つを有と
四十九つを無と
五十つを有と

ふしむかひり

~~車掛けすも~~ ~~平入~~ ~~俵~~ ~~の~~

心の中をよむがまらうと長

聖なるもひ

美經を 見殿員すも 人みし人

痛しうたすれ

死んぶしは けつしと 聖なるを 聖なる

まじりゆく女事

名を新三百ちや 日 一

今よりと待言

結片に人此 美よは けりぬ

痛しうりけり

子と女の けの 痛しう けりぬ

美すれけり

結入を 美なる 美なるの けの けりぬ

急きうをすれ

魚のけり 痛し ムナリ 痛し 風

うらやま

美室の 小娘を 取らぬ けりぬ

結あし





尾崎紅葉筆百韻新片

少加

著續明治文學史

(昭和十八年刊)

上卷所載

本間久



雄